



2026 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ホ ー プ
代 表 者 名 代表取締役社長 C E O 時津孝康
(コード番号：6195 東証グロース・福証 Q-Board)
問 合 せ 先 専務取締役 C F O 大島研介
(E-mail：ir@zaigenkakuho.com)

2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向及び第 2 四半期（中間期）に係る決算処理の進捗等を踏まえ、2026 年 5 月 14 日付で公表した当期の第 2 四半期（中間期）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想の修正（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	のれん償却等 控除前 営業利益	経常利益	親会社株主 に帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,637	百万円 △74	百万円 △67	百万円 △74	百万円 △77	円 銭 △5.72
今回修正予想 (B)	1,547	△31	△23	△32	△3	△0.23
増減額 (B-A)	△90	43	44	42	74	
増減率 (%)	△5.5	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2026 年 3 月期第 2 四 半期)	1,554	97	104	101	40	2.65

(注) のれん償却等控除前営業利益は、営業利益にのれん償却額及び株式報酬費用を加算して算出しております。なお、2026 年 3 月期まで開示しておりました「のれん償却前営業利益」は、2027 年 3 月期より調整対象項目を拡充したことに伴い、「のれん償却等控除前営業利益」に名称を変更しております。

2. 修正の理由

売上高は、ジチタイワークス事業、企業版ふるさと納税事業及びその他の事業が前年同期を上回る一方、広告事業において、期初に見込んでいた受注・販売計画の水準に届かず、前回予想値を下回る見込みとなりました。その結果、売上高は前年同期とほぼ同水準となる見込みです。

売上総利益は、売上総利益率の高いジチタイワークス事業及び企業版ふるさと納税事業等の売上構成比が高まり、売上総利益率が前年同期の 60.6%から 63.8%に上昇したこと等により、前年同期比で 4.8%増加する見込みです。販売費及び一般管理費は、将来の成長に向けた人員の拡充に伴う人件費の増加や、事業拡大に向けた販売促進費の増加等により前年同期比で 20.7%増加するものの、費用の節減に努めるとともに、一部費用について計画の見直し及び実施時期の変更を行ったことにより、前回予想値を下回る見込みです。これらにより、それぞれ営業利益 43 百万円、のれん償却等控除前営業利益 44 百万円、経常利益 42 百万円、前回予想値を上回る見込みとなりました。

また、親会社株主に帰属する中間純利益は、上記の要因に加え、税効果会計に係る法人税等調整額を計上したことにより、前回予想値を 74 百万円上回る見込みとなりました。

なお、当社グループの業績は下半期に偏重する傾向にあり、当事業年度の通期連結業績予想については、

2026 年 5 月 14 日に公表いたしました予想値から修正は行っておりません。今後、修正の必要が認められた場合には、速やかにお知らせいたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上